

第 3 次岩手県がん対策推進計画（素案）について

1 素案の主な作成方向について

(1) 目標の設定について

ア 全体目標については、国の第 3 期がん対策基本計画案（案）を基本として、下記の定性的な目標（3 目標）を設定することとしてはどうか。

- 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
- 患者本位のがん医療の実現
- 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

イ 個別の目標については、数値等による目標設定を基本として、分野毎に成果指標（アウトカム）、分野を構成する施策毎にプロセス指標、ストラクチャー指標を設定することとしてはどうか。

- アウトカム（O）：取組の成果を測る指標、住民の健康状態や患者の状態を測る指標
- プロセス（P）：サービスを提供する主体の活動や他機関の連携体制等を測る指標
- ストラクチャー（S）：サービスを提供する物的・人的資源等を測る指標

[アウトカム指標の例]

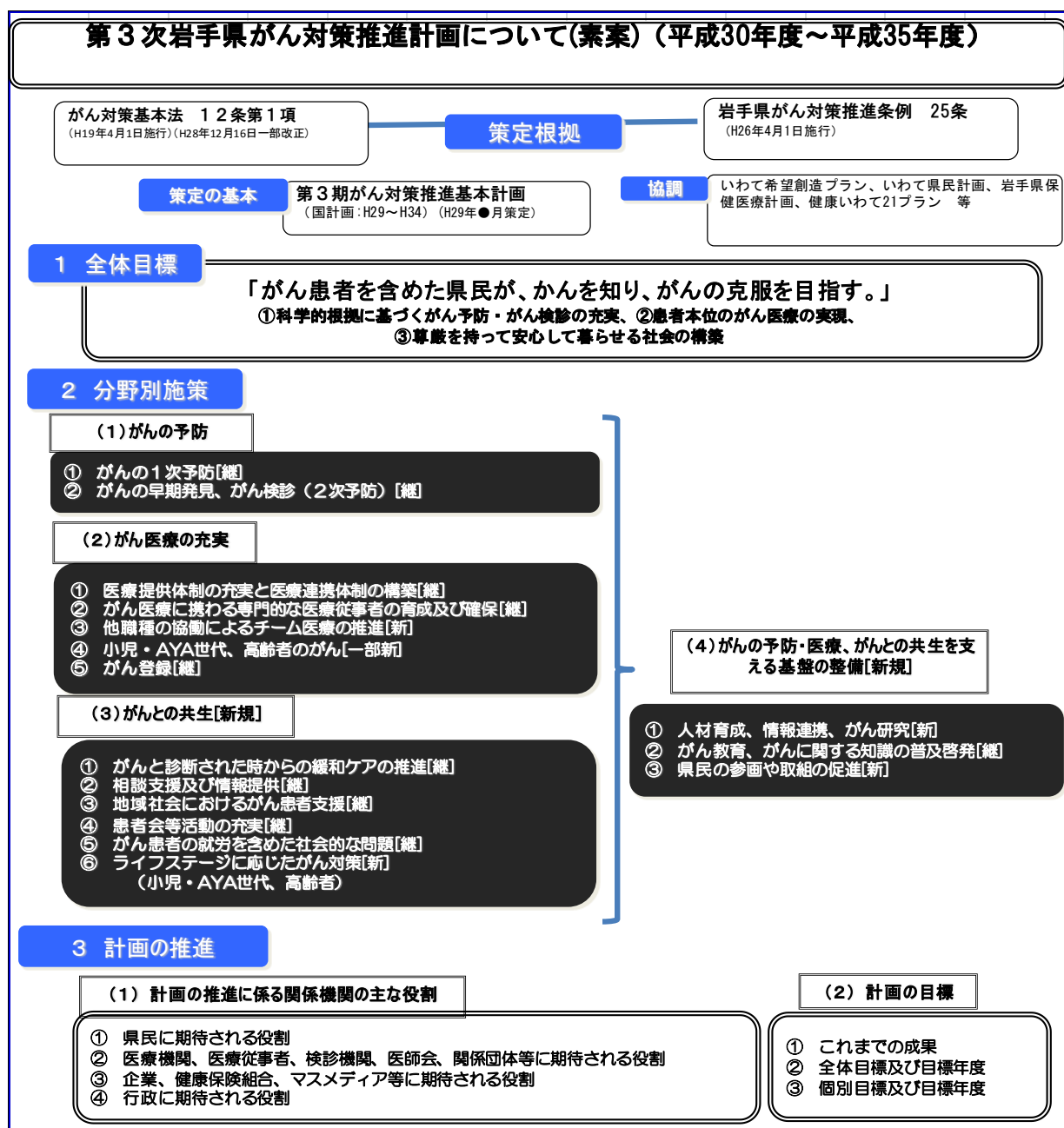
- 「がんの予防」がんにかかる方の減少
 - （案）がんの年齢調整罹患率、75 歳未満年齢調整死亡率などが候補
 - 「がん医療の充実」がんで亡くなられる方の減少
 - （案）75 歳未満年齢調整死亡率
 - 「がんとの共生」住み慣れた地域社会で療養生活ができる患者の増加
 - （案）がん患者の在宅死亡割合
- ※「がんの予防・医療、がんとの共生を支える基盤の整備」については、上記を支える取組であるため設定しない。

ウ 国の第 3 期がん対策基本計画案（案）の推進項目中、国の検討結果を踏まえた上でなければ、県の目標設定が困難な一部の指標については、国の見解が確定した後にいて、目標の設定を考慮することとしてはどうか。

(例) リハビリテーション機能のあり方、高齢の患者の意思決定の支援に関する診療ガイドライン策定、小児がん拠点病院との連携体制による診療体制の確保、緩和ケアセンター機能の強化、緩和ケアセンターのない医療機関の取組の強化、相談支援センター機能の強化、今後のがん医療に必要な人材 など

(2) 施策等の方向について

国の第3期がん対策基本計画案（案）を基本として、また県独自の設定内容（「第20回岩手県がん対策推進協議会」における構成骨子案など）に基づきながら、施策等の構成分野は「がんの予防」、「がん医療の充実」、「がんとの共生」、「がんの予防・医療、がんとの共生を支える基盤の整備」の4つに大別し、分野別施策の内容について、概ね下記のとおりとはどうか。



(参考) 県保健医療計画の策定作業との協調について

参考資料 1 の抜すい (H29. 8. 2 第 2 回医療審議会医療計画部会資料から抜すい)

[見直しのポイント]

- ・ 国の指針とともに、国が策定する次期がん対策基本計画の記載内容などを基本として所要の見直しを行っていくこととしてはどうか。
課題等については、「がんの予防」、「がんの医療」、「がんとの共生」、「これらを支える基盤の整備」の 4 つの項目に大別して記載することとしてはどうか。

3 素案の特色 (前計画からの主な変更点など)

具体の計画本文 (事務局案) の内容について →「別添」のとおり※9/14 現在
既存の取組を継続しつつ、関係者が連携しながら以下の取組を推進

- (1) 従来の「がんの予防」、「がんの医療」の分野に加えて、患者の療養生活を支える「**がんとの共生**」、「**がんの予防・医療、がんとの共生を支える基盤の整備**」を体系化
- ・ 「がんとの共生」：がんと診断された時からの緩和ケアの推進、ライフステージに応じたがん対策 など
 - ・ 「がんの予防・医療、がんとの共生を支える基盤の整備」：
人材育成、情報連携、がん研究、がん教育、情報発信、県民の参画 など
- (2) 設定目標にアウトカム指標等の設定を考慮
- ・ (再掲) 分野毎に取組の成果指標の設定など
- (3) 新たな課題への対応
- ・ ゲノム医療、難治・希少がん、小児・AYA世代、高齢者のがん対策
医療機関の連携による診療体制の確保、人材の育成、情報提供 など
※今後、国の検討動向を踏まえながら県内の取組を促進
 - ・ ライフステージに応じたがん対策の推進
患者の療養生活を支える在宅医療体制、教育・就労支援等 など

(3) 関係職種や他職種との連携による取組強化

- ・ チーム医療の取組（がんセンターボードへの他職種参画、医科歯科連携など）
- ・ 企業、学校及び健診機関等との連携（がん予防、がん教育など）
- ・ 医療機関、企業と就労支援機関との連携（就労、仕事と治療の両立支援など）
- ・ 拠点病院と地域医療機関、介護支援機関との連携（在宅医療体制の構築など）
- ・ 医療機関と患者会等との連携（相談支援、普及啓発など） など

(4) がん診療連携拠点病院の体制維持、更なる機能強化

- ・ 拠点病院に係る新たな整備指定要件の充足（がん医療提供体制の均てん化）
- ・ 拠点病院間の連携、小児がん拠点病院など県外医療機関との連携
- ・ 自院の質の向上に向けた取組（PDCAサイクルの導入など）
- ・ 緩和ケアの推進（研修実施による人材育成、センター機能の取組の強化など）
- ・ 他職種との連携等による相談支援体制の強化 など

(5) 本県特有の取組など、県民へのがんに関する情報提供、普及の促進

- ・ 県内の関係団体等が実施している取組の紹介
- ・ 国立がんセンターからの情報（全国がん登録など）、科学的根拠に基づく正しい知識や偏見の払拭に向けた情報提供、啓発 など

4 分野別施策の取組（概要）について

2次計画（8分野12施策） → 3次計画（4分野15施策）へ拡充

(1) がんの予防

ア がんの1次予防

- ・ 生活習慣病改善対策、喫煙対策 など

イ がんの2次予防（がんの早期発見、がん検診）

- ・ がん検診を受診しやすい環境整備、普及啓発 など

(2) がん医療の充実

ア 医療提供体制の充実と医療連携体制の構築

- ・ 拠点病院に係る新たな整備指定要件の充足（がん医療提供体制の均てん化）、拠点病院間の連携の促進、がん医療に関するリハビリテーションの推進、国の検討結果に基づくゲノム医療、科学的根拠に基づく免疫療法等の促進 など

イ がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成及び確保

- ・ がん医療に携わる専門医、専門看護師など医療従事者の育成、遠隔診断システムの促進、高校生や医学生へのセミナー開催 など

ウ 他職種の協働によるチーム医療の推進

- ・ キャンサーボードへの他職種（栄養、薬剤、リハビリなど）の参加促進、医科歯科連携 など

エ 小児・AYA世代のがん、高齢者のがん

- ・ 拠点病院間・小児がん拠点病院間の連携促進、情報発信や啓発の促進、国等が策定する「高齢のがん患者の診療ガイドライン」の活用 など

オ がん登録

- ・ 院内及び地域がん登録の取組、全国がん登録情報の利活用 など

(3) がんとの共生

ア がんと診断された時からの緩和ケアの推進

- ・ 緩和ケア提供体制の確保、緩和ケアを担う医療従事者の育成、国の検討結果に基づく緩和ケアセンターの取組強化 など

イ 相談支援及び情報提供

- ・ 相談支援従事者の育成や就労支援機関など拠点病院（相談支援センター）の連携体制の構築の促進、ピア・サポーターの普及など

ウ 地域社会におけるがん患者支援

- ・ 医療・介護サービスの連携、在宅医療体制の構築、がんサロン活動 など

エ 患者会等活動の充実

- ・ 家族会等の活動の促進、活動内容の情報発信 など

オ がん患者等の就労を含めた社会的な問題

- ・ 拠点病院（相談支援センター）と就労支援機関との連携の促進、企業に対する治療と仕事の両立等に係る啓発 など

カ ライフステージに応じたがん対策

- ・ 若年者への特別支援教育、就労支援、在宅医療提供体制の確保 など

(4) がんの予防・医療、がんとの共生を支える基盤の整備

ア 人材育成、情報連携、がん研究

- ・ 医療従事者、相談対応従事者、がん登録実務者などの育成、緩和ケアのがん以外の疾患への拡大など緩和ケアの習得の促進 など
- ・ 拠点病院間の情報ネットワーク連携、地域の情報連携の推進
- ・ 治験や臨床研究、いわて東北メディカルメガバンク機構の取組、ILCの推進

イ がん教育、がんに関する知識の普及啓発

- ・ 学校でのがん教育の推進、科学的根拠に基づくがんに関する知識の啓発など

ウ 県民の参画や取組の促進

- ・ 自らの健康づくり等に関する県民への啓発、取組の促進

5 委員の皆様をお願いしたいこと（今後の中間案の策定に向けて）

次回協議会（11月16日）の中間案の作成等に向けて、以下について、ご意見、あるいは所属されている団体のご見解等がございましたら、10月20日（金）までに、事務局（県保健福祉部医療政策室）あて情報提供（様式等任意）をお願いします。

なお、がん計画の中にできるだけ触れていきたいと考えていますが、都合上、報告された内容の要約等を行う場合があるなど、ご希望に添えかねる場合もありますので、予めご了承ください。

（1）素案の修正等について

事実の誤認や記載内容の誤りなど、修正等を要する事項がございましたら、ご助言をお願いします。

（2）取組の事例について

県内がん対策の各分野の取組事例については、主体（連携含む）を明記しながら取組概要について、できるだけ計画の中で触れていきたいと考えています。

県民への周知等が適切な内容がございましたら、情報提供（実施主体、取組概要）をお願いします。

（3）設定目標等の提案について

所属されている団体等において、身近となる行動目標が設定できることが望ましいと考えています。

主体となって行う取組、又は関係者と連携して行う取組について、県のがん計画の中で設定することが適当と思われる取組や具体的な行動目標など、ご提案がございましたら情報提供をお願いします。

（参考）

第22回協議会：

11月16日（木）15時～ 盛岡勤労福祉会館（予定）

・議題（予定）

→ 第3次県がん対策推進計画の中間（案）について

（内容のご確認、設定目標等についてのご審議を予定します。）

→ 次期県保健医療計画（がんの医療体制）の中間（案）について

（内容のご確認。※がん計画の中間（案）の内容を要約し作成を行う予定です。）